分野：日本史、幕末維新・明治史、日英外交・交流史

駐日英国公使パークス書簡翻刻シリーズ第１巻

駐日英国公使パークス・英国外務次官ハモンド往復私信 幕末期編

＜継続注文承ります＞

【翻刻・注釈版】　全１巻

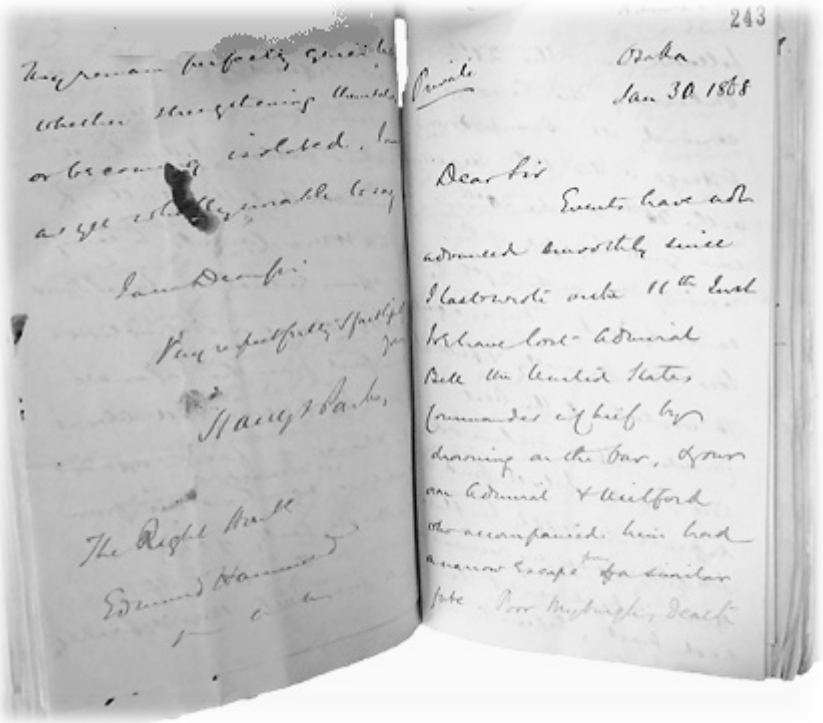
編集・解説●ロバート・モートン（中央大学商学部教授）
序文●佐野真由子（京都大学教育学部教授）

Private Correspondence between Sir Harry Parkes and Edmund Hammond, 1865-1868

Series: Official and Unofficial British Attitudes to Japan, 1865-1883: Private Correspondence between Sir Harry Parkes and the Permanent Under-Secretary in the Foreign Office, Volume 1

Edmund Hammond (1802-1890)

Sir Harry Parkes (1828-1885)



Original copy of the letter from Parkes to Hammond in *The National Archives* (London)

Eureka Press

駐日英国公使パークス書簡翻刻シリーズ第１巻

駐日英国公使パークス・
英国外務次官ハモンド往復私信　幕末期編

【翻刻・注釈版】全１巻

Private Correspondence between Sir Harry Parkes and Edmund Hammond, 1865-1868

Series: Official and Unofficial British Attitudes to Japan, 1865-1883: Private Correspondence between Sir Harry Parkes and the Permanent Under-Secretary in the Foreign Office, Volume 1

編集・解説●ロバート・モートン（中央大学商学部教授）

序文●佐野真由子（京都大学教育学部教授）

2018 年 10 月刊行　B5 判・約 220 頁　本体価格：￥28,000-（＋税）　ISBN: 978-4-86166-206-5

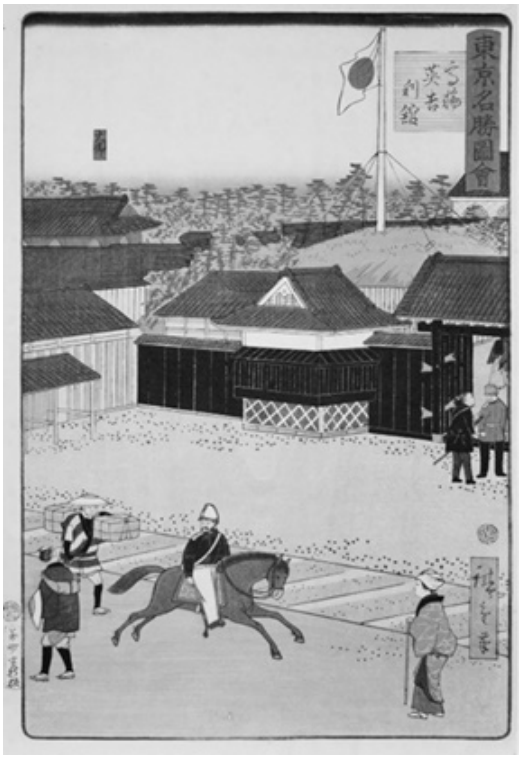
初代英国駐日公使オールコックの後任として 1865 年に来日したサー・ハリー・パークスは、駐日英国公使・大使として歴代最長となる 18 年間その職を務め、幕末･維新期の日本と西洋の最前線で活躍した最重要人物の一人です。アーネスト・サトウ、アストン、ミトフォードといった優秀な書記官を部下にもったパークスは、幕府内外から広く情報を収集、中立を保ちながらも、薩長や討幕側と通じることにより新政府の樹立に影の指導力を発揮、英国からの強い影響のもとで明治日本が始動することになります。

本資料は、そのパークスが英国外務省高官らとで交わした非公式な書簡類を翻刻出版するシリーズの第 1 巻で、英国公文書館に所蔵されている、当時の外務事務次官エドムンド・ハモンドとで交わした幕末期の往復書簡全点を収録、さらに一部関連文書中の書簡も補足、編者による詳しい注釈を付しています。（英国公文書館の該当資料ファイルは「ハモンド文書」として知られますが、この文書については佐野真由子氏の推薦文をご参照ください。）

パークスは外務省宛の公式報告とは別に、信頼する高官ハモンドへ数多くの私信を送り、その時々の個人的な意見や気持ちを率直に伝えています。その内容は日本国内の政治状況や展望、政治家の人物評といった政治・外交問題から、日本での生活から受けるストレスといった私的なものも含まれ、ハモンドは誠実にそれらに返信しています。

公的な資料とは異なる外交史の側面や、後に日本アジア協会の会長も務めるパークスの日本や日本の近代化に対する様々な思いもここから読み解くことができる貴重な資料です。

明治 150 年を迎える今日、幕末・維新史、日英外交・交流史研究に新たな視座をあたえる本書簡集を是非今後の研究・教育に利用ください。



（歌川広重（二代）画　東京名勝図会高輪英吉利館）

19 世紀外交に関する宝庫中の宝庫　―「ハモンド文書」について

佐野真由子（京都大学）

エドムンド・ハモンド（1802-1890）は、19 世紀イギリス外交、とりわけアジアへの展開を担った最重要の人物と言ってよい。高名な外交官を父に持つエリート官僚として外務省の中枢を歩み、1840 年代からは、中国やロシア、中東・北アフリカなどを所管する部門を統括。1854 年に外務事務次官の地位に就いたのちも、アジア方面の主要な政策課題について実質的な決定者であり続けた。それはほかでもない、「対日外交」という領域が新しく登場した時期でもある。

これらの地域に駐在する歴代のイギリス代表らは、公式文書とは別に何か伝えたい事情、率直に訴えたい問題を抱えたとき、ハモンドに私信を宛てた。ハモンドは直接返書を記すだけでなく、国内の高官と私信を交わして解決策を探ることもあった。そうしたハモンドの私文書･準公文書からなる“Hammond Papers”(FO391) は、イギリス国立公文書館（The National Archives）が所蔵する膨大な外務省（FO）文書のなかでも、19 世紀外交に関する宝庫中の宝庫である。

にもかかわらず、「ハモンド文書」はこれまでの研究上、「日本」「中国」など国名で管理される外務省の公文書群と比べると、十分に活用されてきたとは言い難い。このたび、明治維新を挟む数年間にハモンドと駐日公使パークスとの間で往復した私信について、FO391 外からも補完しつつ、翻刻出版が手がけられるという。直接その時期の日英関係研究に資することはもとより、「ハモンド文書」の重要性、さらには外交史研究においてこのような私文書を併せ読むことの意義がより広く共有されるうえで、大変貴重な一歩である。

The old Foreign Office building in Downing Street

●シリーズ今後の刊行予定●

Volume II: Private Correspondence between Sir Harry Parkes and Edmund Hammond, 1869-1873
『駐日英国公使パークス・英国外務次官ハモンド往復私信　明治初期編』
2019 年刊行予定｜ ISBN: 978-4-86166-207-2

Volume III: Private Correspondence between Sir Harry Parkes and Lord Tenterden, 1873-1878
『駐日英国公使パークス・英国外務次官テンタデン卿往復私信　明治初期編』
2020 年刊行予定｜ ISBN: 978-4-86166-208-9

Volume IV: Private Correspondence between Sir Harry Parkes and Lord Tenterden and Sir Julian Pauncefort, 1878-1883
『駐日英国公使パークス・英国外務次官テンタデン卿＆ポンスフォート卿往復私信
明治初期編』
2021 年刊行予定｜ ISBN: 978-4-86166-209-6

●関連書籍のご案内●

◆学究決定版◆

翻刻・注釈版

アーネスト・サトウ日記

十九世紀～二十世紀初頭の国際政治に大きな足跡を残した英国外交官アーネスト・サトウの日記。日本・極東アジア関連日記の全文翻刻に、詳しい注釈・解説と英国の日本・アジア近代史研究第一人者の序文を加えた学究決定版―全巻図書館向けクロス装にて刊行。

イアン・ラクストン（九州工業大学）編

翻刻・注釈版『アーネスト・サトウ日記』日本・極東アジア関連各巻明細

年　代	日本語タイトル	ISBN	本体価	刊行状況
1861-1869	幕末維新期編（全1巻） 共編：ロバート・モートン（中央大学教授） 序文：デイヴィッド・ウォーレン（元駐日英国大使）	978-4-902454-83-3	¥29,800	既刊・在庫
1870-1883	明治前期編（全1巻） 序文：ヒュー・コータッツィ（元駐日英国大使）	978-4-902454-95-6	¥34,800	既刊・在庫
1895-1900	駐日公使時代（全1巻） 序文：ナイジェル・ブレイリー（元ブリストル大学教授）	978-4-901481-06-9	―	品切れ
1900-1906	駐清公使時代編（全2巻） 序文：ジェイムズ・ホアー（元在北朝鮮英国臨時代理大使）	978-4-902454-96-3	¥59,800	既刊・在庫
1906-1911	日露終戦、第2回ハーグ平和会議から第一次世界大戦へ（全1巻） 序文：イアン・ニッシュ（ロンドン大学名誉教授）	978-4-902454-94-9	¥34,800	既刊・在庫

発行元：Eureka Press（ユーリカ・プレス）
c/o Edition Synapse（エディション・シナプス）
〒100-0014　東京都千代田区永田町 2-17-5-201
Tel: 03(6257)1030　Fax: 03(5521)0026　http: //www.aplink.co.jp/synapse

取り扱い書店：